

本所今昔物語 本所と水(8)

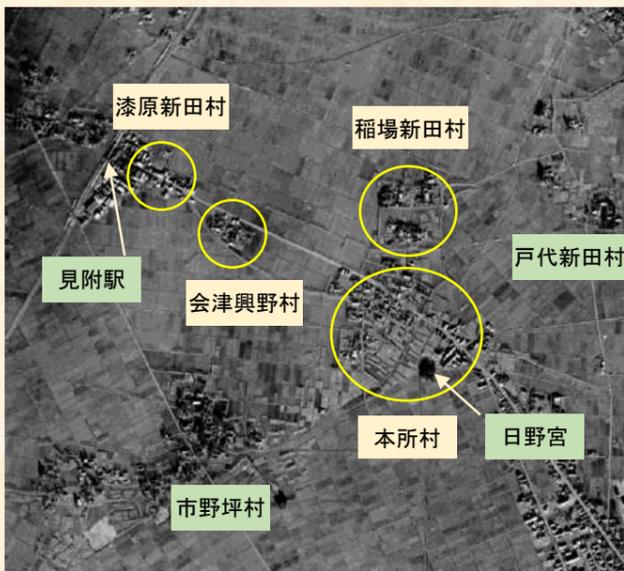
本所村の合併

明治21年、国は市制及び町村制を公布しました。小規模な町や村では自治を行う力が不足することから、これを強化するために合併を促し、天皇を中心とした国をつくることを目的としたとされています。

現在の見附市域でも沢山の村々が合併していて、私達の本所地域でもこれに先立つ明治20年に会津興野村、稲場新田村、漆原新田村が本所村に合併し、**新・本所村**が誕生しています。

漆原新田村と稲場新田村は肝煎を務めた佐野家が江戸初期から開拓に尽力して成立させたとして市史に記載があります。

合併当時の戸数などの資料はありませんが、明治9年、国が制定した「大区小区制」成立時の戸数資料がありましたので表にしました。合併の11年前の数ですが大きな違いはないと思います。



国土地理院ウェブコンテンツより 1947年(昭和22年)撮影。合併後60年が経過した写真ですが、住宅開発が進む前で合併時の状況を推測できるものです。

村名	戸数
本所村	24
会津興野村	4
漆原新田村	2
稲場新田村	5

黄色の丸枠は伝承された情報から描いたものです。実際の境界などは分からないので境界部分で少しずれがあるかも知れませんが、ご了承下さい。

見附町の誕生

一年後、明治21年には見附本町、見附新町、見附嶺崎町、内町、戸代新田村、仁嘉村、本所村の7ヶ町村が合併して「見附町」が誕生しています。

本所村は藩政時代、同じ本所組に属する新潟村との選択肢があったようですが、地理的・人情の違いなどで合併には至らなかったそうです。

新潟村は、明治22年に片桐村、指出村、下鳥村、小栗山村などと合併し新・新潟村が誕生しています。

狐興野村(きつねこうやむら)はどこだ

市史には、本所組で江戸時代初期に盛んに新田開発が行われたとの記述があります。

成立年が明確なものと、大まかな年代しか分からないものがありますが次の村々が挙げられています。本所地域では、会津興野村1618年、柳橋新田村1613年。慶長年間(1596~1615)よりも後に成立した村に稲場新田村・漆原新田村・**狐興野村**・福島新田村とありますが、明治に入ると公文書から**狐興野村**の名前は突然無くなります。

『元治元年大平堤規定書』(1864年大平堤改修に伴い関係する村々で約定を結んだもの)には関係者47名の署名がありますが、本所地域の代表の部分をピックアップすると。

- 狐興野村 百姓総代 八郎兵衛
- 肝煎 久左衛門
- 稲場新田村 百姓総代 伝右衛門
- 組頭 八郎右衛門
- 肝煎 佐野利右衛門
- 本所村 百姓総代 彦左衛門
- 組頭 三左衛門
- 肝煎 五兵衛

- 本所組脇立 三本佐次兵衛
- 本所組大庄屋 小林六平治

この資料により、幕末まで狐興野村の存在が証明されます。稲場新田・肝煎佐野利右衛門は佐野家の当主、本所村百姓総代・彦左衛門は6区野本千晴さんの5代前の当主ということが分かっています。小林六平治は六左衛門家の9代目当主で、六左衛門を名乗った時期もありましたが、この時期には六平治を名乗りました。

この約定が結ばれた元治元年から、大区小区制定の明治9年(1876)までの13年間に狐興野村に何が起きたのか、場所はどこか、興味は尽きませんが現時点では資料不足で解明できません。

表紙写真『大判小判がザックザク』

童謡「花咲か爺さん」の歌詞です。昭和江の畔に毎年昔話のような光景が出現します。名前は「小判草」といい、ヨーロッパ原産のイネ科の植物で明治時代に観賞用に持ち込まれ、その後野生化したものだそうです。小判のよう見えるところは「小穂」といってここに種ができます。田圃や水路の脇に育つので、6月頃には除草剤散布されたり草刈り機で刈られたりしてなくなりますが、翌年には見事に発芽して穂をならせる頑強な植物です。

発行元

新潟県見附市「本所1丁目町内会」
担当 野水英男 TEL62-1542

かたくり

町内会だより

本所1丁目

2024年
(令和6年)

8
月号



- 2P 春のクリーン作戦実施
西地区こどもまつり開催
齢を重ね今もなお
- 3P 子供達の安全は地域で
「雨にも負けず」防災訓練実施
見附市自治功労受賞者紹介
本所会館を利用しませんか
- 4P 本所今昔物語

春のクリーン作戦実施



4月14日(日)見附西地区スマイルコミュニティ主催でクリーン作戦が実施されました。当日は好天に恵まれたこと、コロナ5類移行などによって非常に沢山の方から参加いただき、西コミ発表では164人もの参加がありました。



毎年家族やご近所で参加される皆さんです

環境意識の高まりからか住宅地での不法投棄ゴミは殆ど無くなり、参加者のゴミ袋の中身も少ないですが、毎年一回の行事に本所1丁目に住む仲間として顔を合わせることに意義があるのではないのでしょうか。来年も宜しくお願いいたします。

西地区子どもまつり開催

西地区子どもまつりが5月25日(土)開催されました。参加者は550人で、開会直前は本所会館前が人で埋め尽くされました。

ようやく本所以外の地域からも認知され、うれしい限りです、参加して下さった方に心から御礼を申し上げます。

後援団体 本所1丁目町内会
本所親和会
本所1丁目子供会

また、これを支えて下さった団体の皆さんにお礼を申し上げます。

飾り付けは各区で分担されていて、区長さんも慣れない高所作業で汗を流されました。足場がでこぼこで脚立に登るのは結構大変だったそうです。



今年度から西コミ会長に就任された本所1丁目在住の平賀大介さんから開会の挨拶がありました。



本所親和会の飲食物販売所
同会ではこの事業開始当時から多数の会員を動員して、綿飴、焼きそば、型抜き、吹矢、ゴム鉄砲、輪投げなど、子供達が喜びそうな沢山の食べ物や遊びを提供してきました。



景品抽選所
西コミの役員さんが運営されました。

齢(よわい)を重ねて今もなお

今年90歳の2区の松永芳明さん。見小までのお迎えは後輩に譲ったものの今も地元で子供達の安全に目を光らせます。この活動を始めて20年の今でも存在感在り在りですね。今後も宜しくお願いいたします。



子供たちの安全は地域で



丸山嘉勝さん
田村正敏さん
間島正さん

見小の登下校時見守りボランティア活動を西コミさんが強力に進めて大きな成果を挙げています。今までは個人のボランティアさんが学校に登録して行っていたが、人材確保など困難な部分があった、西コミさんが事業として取り上げ、個人から組織の活動に拡大し、今まで参加の無かった町内からの参加など嬉しい話題もありました。

取りまとめ役の1区の田村正敏さんは10年以上のベテランです。4区の間島正さんは昨年区長を勤められ、お孫さんの入学を機会にこの活動に参加、昭和町1丁目の丸山嘉勝さんは4年目になるそうです。

「雨にも負けず」・防災訓練実施



	一次避難場所	避難者
1区	県央メジカルセンター	60
2区	本所南児童公園	30
3区	コミュニティ広場	58
4区	見附高校	44
5区	本所北児童公園	32
6区	本所保育園	53

3区会場では雨の中、避難者に対して、本多区長が参加のお礼を述べ、災害段階別の避難場所の説明、更には防災訓練の必要性を訴えておられました。

6月23日(日)見附市総合防災訓練が「水害・土砂災害」を想定して実施されました。梅雨入り直後ということであいにくの雨でしたが、各会場では大勢の参加者がありました。皆さんご苦労様でした。

見附市自治功労表彰

令和5年度見附市自治功労表彰者に本所1丁目1区在住の板垣守さんが選ばれました。今までの活動などについてご本人にお話を伺いました。

○消防団長

いたがき まもる

板垣 守さん

「公選によらない非常勤の特別職に10年以上在職」



板垣さんは現在本所会館防火管理者を務めておられます。

また消防団に関しては、昭和57年消防団入団、平成4年分団長、平成17年見附市消防団・副団長、平成23年から5年間団長を務められました。

(質問)長い消防団人生での思い出は。

(答え)団長時代に県消防大会の小型ポンプ操法の部で芝野町チームが県1位になったことですね。優勝は団員の絆を深め、団の活動の力になるからです。

(質問)消防団の必要性和意義について。

(答え)能登半島地震の時や見附市の過去の大きな災害で指摘されましたが、災害の規模が大きくなるほど被災範囲が広域化して、公的な救助活動が遅れがちです、それまでの間は訓練を積んだ消防団の活動は重要で、無くてはならない組織であると考えています。

なお、板垣さんは昨年11月3日の国の褒賞で、名誉ある瑞寶単光章「消防功労」を受賞されています。おめでとうございます。

本所会館を利用しませんか

本所会館は町内皆の財産です。利用は町内会、老人会、区などに限らず本所1丁目の住民(会員)であれば一定の条件を満たす集会では無料で使うことができます。



(主な使用目的)会議、集会、サークル活動や、趣味の会などでも可能です。冷暖房完備ですから使ってみませんか。

(使用できる時間)9時から22時まで、使用したい方は所属の区長さんにご相談下さい。

また、「本所会館使用規則」は見附西地区スマイルコミュニティHPの「参加団体HP」に掲載しておりますので参考にして下さい。